

# 国際学生EVデザインコンテスト2017 概要ご紹介

2017年1月



一般社団法人電気自動車普及協会  
Association for the Promotion of Electric Vehicles

# 国際学生EVデザインコンテスト2017の説明

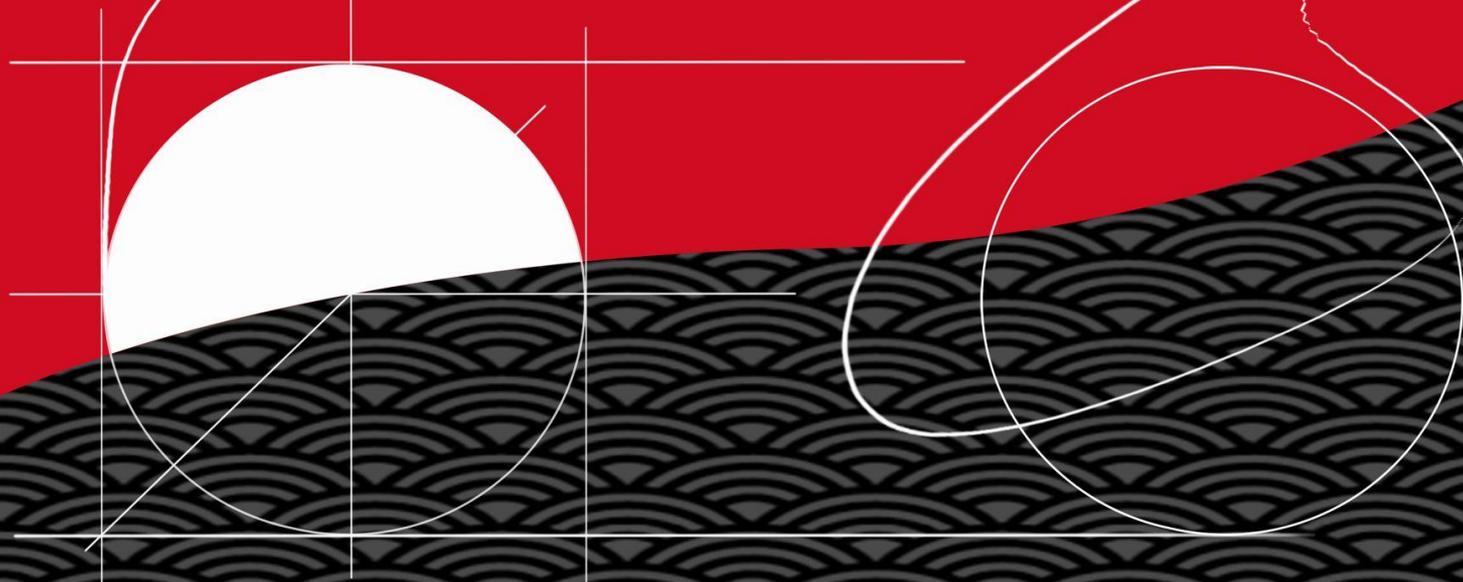


# 2017



Association for the  
Promotion of Electric Vehicles

## EV Mobility Design Contest for International Students 2017



一般社団法人 電気自動車普及協会（以下APEV）では  
2013年から東京モーターショーの開催に合わせ「国際学生EV  
超小型モビリティデザインコンテスト」を実施して参りました。

今回は対象を『EV全般』へと変更し、次世代を担う若者からデザインが持つ創造力企画力により、モビリティ社会の将来のあり方や環境への新しい取り組みを世界に向けて発信していただきたいと考えています。

ぜひ、多くの皆様方のご支援をお願いいたします。

目的：EVの可能性を通して次世代を担う学生を育成すること

単にクルマ（EV）のデザインだけでなく、  
社会・街・地域の人々・文化等との関わりも含めた  
環境デザインを募集

□参加資格：18歳以上の学生

（2017年4月1日時点。学校の種類は問わず、2名～6名のチームも可  
1校で複数チームも可）

□一般的なコンペとは違い、制作活動の進捗をSNSを活用して共有する。

□2017年以降も当コンテストを継続開催し、デザイン→設計→実車製作までを  
視野に入れる。

**主催:** 一般社団法人 電気自動車普及協会

**後援:** 環境省

(予定;50音順)

経済産業省

国土交通省

東京大学大学院情報学環

一般社団法人 日本自動車工業会



**JAMA**

## 1 次募集協賛（申込済）

（50音順）

IHI運搬機械株式会社、NTN株式会社、日産自動車株式会社、  
株式会社ベネッセホールディングス、株式会社本田技術研究所、  
ヤマハ発動機株式会社、ルネサス エレクトロニクス株式会社

\* 2 次募集協賛 募集中



NISSAN MOTOR COMPANY



# EVデザインコンテスト実行委員会



□委員長： 山下 敏男

(APEV理事、INTERROBANG DESIGN 株式会社代表、  
首都大学東京客員教授)

□副委員長：有馬 仁志

(APEV理事、有馬マネジメントデザイン株式会社代表取締役社長、  
横浜スマートコミュニティ代表)

□事務局：一般社団法人 電気自動車普及協会 (APEV)

# 審査委員



## 審査委員長 □中村 史郎 氏

(一般社団法人 日本自動車工業会 モーターショー特別委員会 委員長、  
日産自動車(株) 専務執行役員チーフ・クリエイティブ・オフィサー)



## 審査委員 □安藤 忠雄 氏 (建築家、東京大学名誉教授)



□奥山 清行 氏 (工業デザイナー、KEN OKUYAMA DESIGN 代表)



□長屋 明浩 氏 (ヤマハ発動機(株) 執行役員 デザイン本部 本部長)



□パトリック・ルケモン 氏 (工業デザイナー、元ルノー副社長)



□ジャン・ファン 氏 (広州自動車グループ デザイン担当副社長)



□田嶋 伸博 (一般社団法人 電気自動車普及協会 代表理事)



# 審査委員メッセージ



## ◆審査委員長 中村 史郎 氏メッセージ



モビリティは歴史の中で社会と共に常に形を変えてきました。現在私達が直面している地球温暖化などの環境・エネルギー問題は、クルマの電動化を促進し、また渋滞・過疎化・高齢化などの問題には自動運転など新技術の導入が求められています。そしてこれら要素は今後のクルマの使われ方や、そのデザインを大きく変えて行くことでしょう。

このような時代の変化の中で、これからの社会を担う若い世代に、未来をデザインし提案する『場』として、2013年からAPEVにより、EVデザインコンテストが開催されています。

第3回となる今回は対象が超小型モビリティ限定から、EV全般へと変更となり、将来のモビリティ社会のあり方や環境へ配慮等、幅広い提案が期待されています。

そして海外含めコンテストの目的に相応しい方々が審査員として参加しており、コンテスト自体も新たな段階へ向かっていることを感じています。

また、このコンテストの特徴のひとつに充実したワークショップがありますので、参加者はコンテストを通じ、デザイン提案力のレベルを一段と向上させることができるでしょう。

デザインが持つ想像力による新しい提案を世界に向けて訴求していただきたいと思います。是非多くの方々の意欲的な参加を期待しています。

# 審査委員メッセージ



## ◆審査委員 パトリック・ルケモン 氏メッセージ

我々は輸送交通デザインの新しい時代の入口にいます。電気自動車の大量生産の開始によって、世界中の人々が健康で幸せな生活を送ることができるようになる、そんな時代の幕開けです。

デザイナーは電気自動車が社会に受け入れられることに対し多大な責任を負っていますし、自動車デザインの歴史における新たなページを作成するべく、この特別なチャンスを生かさない手はありません。既存製品の模倣ではなく、知性と魅力の両方を兼ね備えた革新的で全く新しい車の形を提案しなければならないのです。



### □略歴

Birmingham Institute of Art and Designにて産業デザイン専攻、卒業後、自動車産業界へ。フォード、フォルクスワーゲン-アウディで国際的キャリアを築き、ルノーではコーポレートデザインの部の上級副社長を務める。

2010年以降は、船舶デザイナーとして活躍。また、2013年には、フランス・リビエラ地方のニースに The Sustainable Design Schoolを共同設立。

国際的な受賞は数知れず、2002年の欧州最優秀デザイナーを初め、各国で年間最優秀デザイナーとして選出される。また、同年にはRaymond Loewy財団よりLucky Strike 年間最優秀デザイナーとして選ばれる。2015年には、アメリカの EyesOnDesign Lifetime Design Achievement (終身デザイン功労賞) 受賞。

# 審査委員メッセージ



## ◆審査委員 ジャン・ファン氏メッセージ



電気自動車技術が発展し、自動車産業の原動力を根本から変えつつあるインターネットが強い影響力を持つにつれ、革命が起ろうとしています。我々はしっかり未来を見据えて、人類にとって最善のモビリティソリューションを見出さなければなりません。これこそが本コンテストの目的であり、参加者への課題なのです。電気自動車は技術的な解決法（ソリューション）であるだけで、どうしたら適切な方法で電気自動車を活用することができるか、その方法を探ることが全てのデザイナー、特にアイデアや情熱に満ち溢れる若者たちへのタスクとなります。全参加者の最終作品を目にするのを待ちきれません。結局のところ、未来は彼らの手中にあるのですから。

### □略歴

中国同済大学にて産業デザインの学位修了後、2002年、清華大学にて輸送デザインの修士号を取得。2003年にメルセデスベンツに就職、8年間、ドイツ、ジンデルフィンゲンにある同社のデザイン本部にて、コンセプトデザインおよびプロダクトデザインに関わる。最新のSL (R231)生産およびコンセプトAクラスのモデルの主要エクステリアデザイナーを務め、また、A-Class (W176)およびSLK (R172) エクステリアの生産を行うなど、様々なメルセデスベンツプロジェクトに関与した。

2011年6月、GAEI(GAC Automotive Engineering Institute)の研究開発部門のデザインディレクターに就任。GACの自社ブランド Trumpchi(传祺)全デザインを統括した。多文化デザインチームが設立され、Flying Dynamics と呼ばれるユニークなデザインの「遺伝子」をGACの全ての新車のために開発した。このデザインチームは、オリジナリティあふれる高品質なデザインを同社製品に活用することに成功し、GACを最も急成長した中国車メーカーの一つに押し上げた。2016年4月以来、同社の副社長、デザイン長

## 【課題】

ゼロエミッションEVの可能性を最大限に  
活用した未来のモビリティと  
その社会とのかかわりのデザイン提案

## 【審査方法】

### 1) 1次審査(20チーム前後を選ぶ)

下記2点の課題を審査する

□実際の使用シーンを想定し

(1) ユーザー

(2) インフラ

(3) パッケージング

(4) 新しい技術を駆使し何を実現するのか？を文章や図、グラフで説明する

□使用シーンを含んだスケッチ（注）：手書き可

1次審査通過チームにはワークショップ1に参加する権利が与えられる

## 【審査方法】

### 2) 2次審査(6チーム程度のファイナリストを選ぶ)

下記2点の課題を審査する

□1 次審査に同じ

・使用シーンを含んだスケッチ<sup>(注)</sup>のデータ：2Dデータ又は3Dデータ

□2 次審査通過チームにはワークショップ2に参加する権利が与えられる

(注)：スケッチは、外観（エクステリア）は必須、内装（インテリア）はオプション

## 【審査方法】

3) ファイナリストは、通知されてから表彰式までの間に、

- (1) ユーザー
- (2) インフラ
- (3) パッケージング
- (4) 新しい技術を駆使し何を実現するのか？を
  - ・説明するポスター（B1サイズ1枚）を作成せねばならない

# 最終審査 & 表彰式



全てのファイナリストは、東京モーターショー会期期間中に東京で行われる表彰式の中で作品のプレゼンテーション(パワーポイントにより5分程度)を行う。

プレゼンテーション結果を含む最終審査により、最優秀賞(グランプリ)を始めとする各賞が決定され、表彰される

## 【ファイナリストの作品展示】

全てのファイナリストの作品は、東京モーターショー会期期間中に東京で、ポスター等が展示される

### **東京モーターショー会期：**

2017年10月27日(金)～11月5日(日)  
プレスデー 2017年10月25日(水) 26日(木)

# 参加資格



- 2017年4月時点で18歳以上の学生  
(学校の種類は問わず、2名～6名のチームも可、1校で複数チームも可)
  - エントリー費：無料
  - 主催者が指定するSNSに登録し、各種案内にタイムリーに回答できること
  - 所属する学校の教員がコンテスト参加を承認し、参加者を指導できること
  - 応募要項の「注意事項」及び「個人情報の取り扱いについて」に同意すること
- \* 応募作品やコミュニケーションに使用する言語は英語とする  
(母国語を併記することは可能)

## 1) オリジナリティ

アイデアが独創的でコンセプトが明快であり、且つ実現の可能性が感じられる

## 2) デザイン

時代性・社会性を反映し魅力的である

## 3) プレゼンテーションカ

プレゼンテーションの表現力、説得力が高い

\* 応募者自身のオリジナル作品で、国内外で未発表であること

# 賞品



- 最優秀賞、特別賞(賞の内容や金額は協賛金により別途決定)
- 協賛・協力企業が提供する賞(賞の内容は協賛社により別途決定)
- 東京モーターショー会期中のプレゼンテーション機会  
(東京都内にて開催予定の展示会及び表彰式にて)
- トロフィー又は楯授与
- コンテスト2017年作品集冊子への掲載

\* すべてのファイナリスト (6チーム) に与えられる

## 【参加学生へのメリット】

- コンセプトやデザイン提案力の養成
- キャリア形成と社会に対するアピール
- デジタルツールの活用スキル養成
- デザインが2次使用や商品化される可能性がある

# 前回,第二回開催の紹介



## 国際学生EV超小型モビリティデザインコンテスト2015

# 国際学生EV超小型モビリティデザインコンテスト2015 最優秀賞：京都工芸繊維大学 Team:Nasawopolus



E-Mobilis

# 国際学生EV超小型モビリティデザインコンテスト2015 表彰式@東京モーターショー Smart Mobility City



2016年10月末：コンテスト募集要項発表

2016年11月23日（水・祝）カーデザインワークショップ@東京開催

\*\*\*\*\*

**2017年1月19日：記者発表会（審査委員発表・エントリー開始）**

2017年4月28日：エントリー締切

2017年5月31日：1次作品提出締切

2017年6月12日：1次審査結果発表

2017年6月下旬：ワークショップ1

2017年8月14日：2次作品提出締切

2017年9月1日：2次審査結果発表

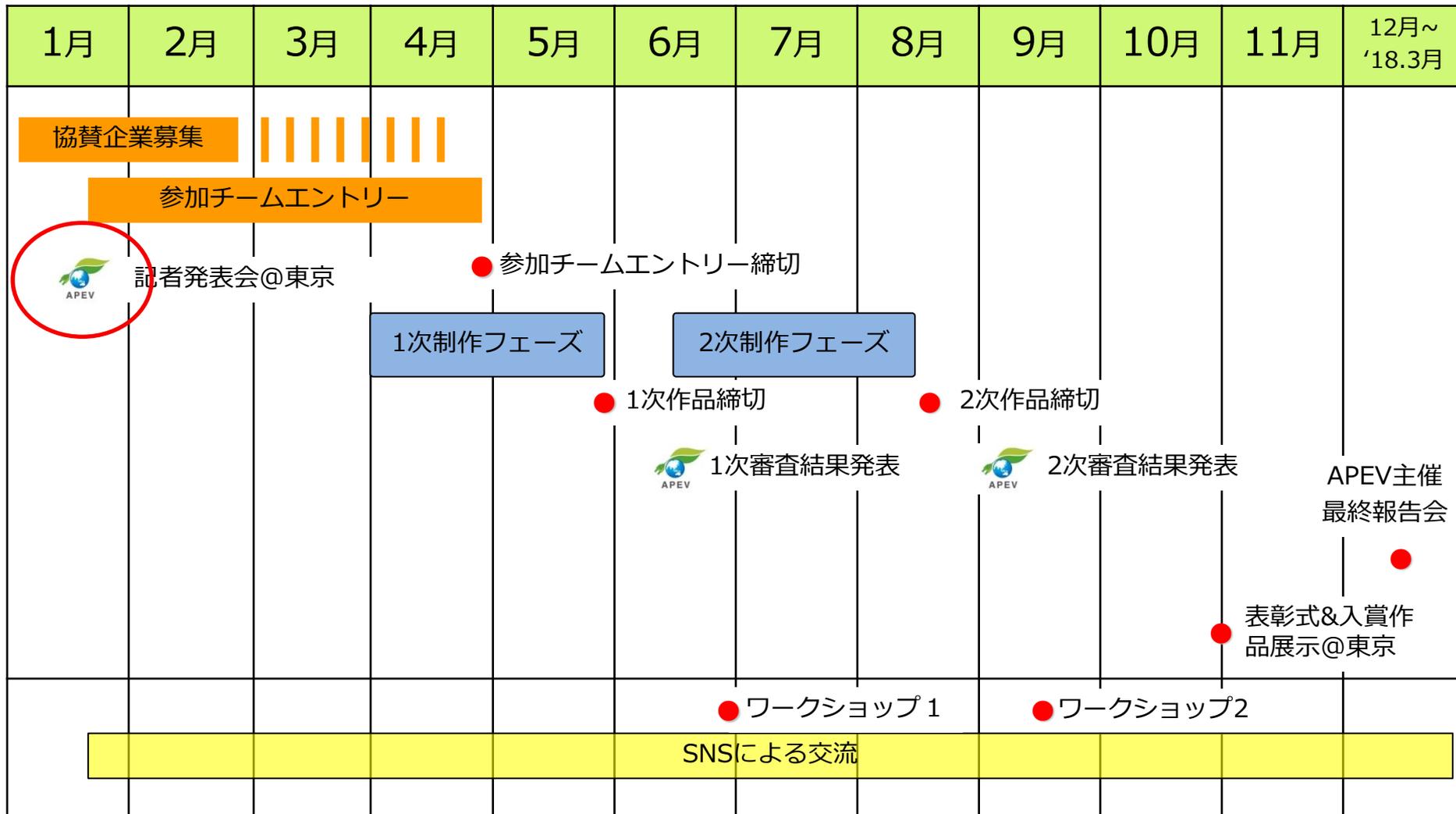
2017年9月中旬：ワークショップ2

2017年10月末～11月初：最終審査と表彰式@東京

2018年2月～3月：最終報告会

※日程は変更の可能性があります

# スケジュール 2017



# 協賛のお願い

# 超一流デザイナー、アーキテクトによる評価



単にクルマ（EV）のデザインだけではなく、  
社会・街・地域の人々・文化等との関わりも含めた  
環境デザインを募集

# ご協賛パッケージプラン



## ご協賛企業様メリット

- 日本のデザイン界を担う学生の育成に貢献（人材育成、社会貢献）
- コミュニティ参加者とのコミュニケーションの場として活用（ニーズの吸い上げ）
- EV普及活動、温暖化防止のため活動している企業・団体であることを内外にアピール
- 参加学生及び参加学校との交流機会（社内活性化、リクルート）

	パッケージタイプ		
	Gold	Silver	Bronze
①コンテストのコミュニティサイトへのバナー掲載	●	●	●
②特設サイト（コンテストオフィシャルサイト）へのバナー掲載	●	●	●
③コンテストのコミュニティサイトへのブログを活用したPR	●	●	
④印刷物（ポスター、新聞/雑誌広告、2017作品集等）への社名およびロゴの掲載	●	●	
⑤コンテスト事例（2次活用）の一部権利のご提供	●	●	
⑥コンテストのコミュニティサイト上での専用メッセージ枠のご提供	●		
⑦企業冠賞の設置と表彰式での授与	●		
⑧表彰式での自社PR展示	●		
<b>金額</b>	<b>300万円</b>	<b>150万円</b>	<b>50万円</b>

※当会会員企業様とのコンタクトについては、別途、APEV正会員への入会を頂く必要があります。

# 協賛企業様バナー広告等掲載における基本構成



協賛企業様のバナー広告は、原則Webサイトページ内、各種告知物や作品集等に掲載します。

## ① オフィシャルサイト (APEV特設ページ)



## ② 作品集

\* 事後制作。下記は2015年版



表紙 & 裏表紙



P.2-3  
協賛企業  
後援団体  
審査員の紹介等



P.4-9 優秀賞受賞作品紹介

# END

皆様のご支援・ご協力、よろしくお願いいたします



一般社団法人電気自動車普及協会  
Association for the Promotion of Electric Vehicles

－ お問合せ先 －

一般社団法人 電気自動車普及協会 (APEV) 内  
EVデザインコンテスト 事務局長 安嶋 (やすじま)  
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 情報学環・福武ホール  
TEL : 050-3736-8325 FAX : 050-3153-2686  
E-mail : contest@apev.jp Website : <http://www.apev.jp/contest/>